

府退教情報

発行日 2025年1月14日(火)
通巻 第82号
発行 大阪府退職教職員連絡協議会
発行責任 青柳 隆
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11
大阪教組気付 TEL06-6762-7999

2025年明けましておめでとうございます

ごあいさつ



2025年の幕が明けました。

昨年元旦の予想もしない能登地震の大災害に震撼とさせられました。今年、北国の豪雪被害に自然の猛威を改めて実感する新年となりました。雪下ろし作業で命を落とすのは必ずといっていい程高齢者なのが現実です。過疎地域での高齢化は他人ごとではありません。ここ大阪でも2025年の75歳以上の世帯主の割合は23.4%と推計されています。

高齢者が生きいきと元気に過す、孤立せず、友をもち、語り合い、自分の力で日常生活を送る。自分でできなくなれば家族や友、行政に助けを求める。そのための年金や医療、そして介護保険等の諸制度ですが、今それらの信頼は揺らぎつつあります。

府退教は今年も単会に集う会員の声を大切に生きがいある取り組みを進めつつ、平和で、安心と安全を感じられる社会づくりに貢献していく取り組みに力を注いでいきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。(青柳 隆)

役員数減の少人数での船出でした。それでも恒例行事と新規行事の開催に新たな試みを加えたり、総選挙勝利の活動にも果敢に取り組んだりして、確かな手ごたえを感じることができました。執行役員の一ひとりとしての半年は、あっという間に駆け抜けていった感じです。三役の方々の力戦奮闘に呼応して、よい雰囲気ややりがいのある半年でした。

この勢いで1年目を乗り切ります。(森山庸浩)

昨年はウクライナやガザ地区での深刻な危機がつづき、トランプ再登場など予測不能なことも起こり、平和の重要性を再認識させられる一年でした。今年、若い世代へつないでいければと考えています。(太田 保)

みなさま、明けましておめでとうございます。昨年とは異なり、晴天が続く穏やかな新年を迎え、新たな気持ちで今年を過ごしていけそうです。

昨年、初めて府退教の役員となり、いろいろな体験をしました。全国高齢者集会参加のため東京出張したり、郷土発見ツアーで参加者と遙学園見学をしたり、連合の高齢者ハイキングで大津を巡って石山寺に行ったりなど、楽しい思い出を作ることができました。

引き続きみなさまとともに、楽しく充実した活動を続けていきたいと思ひます。今年もよろしくお願ひします。(神谷厚子)

府退教の役員として1年目。

想像以上の取り組みにあたふたとしながら、何とかついていったという実感です。

のんびり「サンデー毎日」を楽しむ予定でしたが、選挙のお手伝い、単会・役員会の会議。「いきいき作品展」などいろんなことにかかわることができました。

充分なことにはできていませんが、もうひと踏ん張り頑張りたいと思っています。(藤井清治)

4月からも週5日小学校勤務予定です。子どもたちの笑顔と未来のために「軍事拡大化」「原発回帰」に反対し、集会やデモに積極的に参加します。現場でLGBTQ教育・包括的性教育を広めるために「性別思いこみあるある」の教材作りを進めます。

私たちの声を届けてくれる日教組の推薦する議員がたくさん増えた夢を見ました。正夢になりますように。(太田陽子)



新年あけましておめでとうございます。

さて、2025年は終戦から80年になります。大阪教組は「教え子を再び戦場に送るな」の不滅のローガンのもと、平和な世界の実現と核兵器廃絶を世界に発信する高校生平和大使を支援しています。

戦争・核兵器の悲惨さを伝え続けるとともに、二度と同じ過ちを繰り返さぬよう、ともに頑張りましょう。(大阪府教職員組合 副委員長 林孝次朗)

ボクの階段

「大人の階段昇る～」その自覚は高校2年生。部落、狭山、石川さんを知った。種々の理不尽を引き継いできた大人たちへの絶望と反発。獄中であっても学ぶ姿に希望の感動。

そして50余年。ボクは階段を昇ってきたのか、降ってきたのか。絶望を排する自分の階段を見出せたか。己の希望への学びと営みはどうだ。古希目前の新年の巡りに振り返る。(三村和男)

2025年 今年には戦後80年。ウクライナやガザでは子ども・女性たちが犠牲になり未だ先がみえない。日本では沖縄、南西諸島の軍事政策が進み、住民をも分断させている。

「憲法は国家権力から国民の権利・自由を守るためにある」はずなのに現実には(はて?)と思うことが多い。ありのままの個性を認め合い多様な生き方が平等であることがジェンダー平等の実現となると思う。(30年間実現できていない選択制夫婦別姓など・・・)

府退教のみなさんと共に健康に気をつけて様々な課題に取り組みます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします(谷口 啓子)



今年も残念ながら平和と民主主義という大切な言葉とは裏腹な幕開けとなりました！第二次世界大戦一か月後に生まれた私は、絶対平和教育を大切にしていける使命があると思っています！今年も生き生き作品展に一人でも多くの方が参加できるようにがんばっていきたくと思っています。

また現職組合員との交流の場を増やして現退一致の活動を積み重ねていきたいと思っています。(山下和子)

1月11日(土)午後7時、今年初めての日本語教室へ行きました。

そこで、今から30年前に八尾北高校を卒業し、西郡支部を担い、日本語教室にも深く関わっているOさんから話を聞きました。「八尾のA中学校で数年前に八尾北を卒業したBさんが教師となっていた。彼女が『高校3年間で人権教育をいっぱい習った』と言ってくれたんだよ。」

私はうれしくなりました。と同時に、今私が関わっている仕事でも、昨年4月から携わっている府退教でも相手の心に届けたり、動かしたりできているだろうか……。

ふっと思いました。私も頑張らねば……。 (岩崎万貴子)

3年前、「府退教の役員に女性を」という趣旨の検討委員会が作られ、「検討委員会の一人なら……」と気楽に引き受け、その検討会で“、役員のみならず三役会にも3割の女性参画を”などを含んだ提言をまとめました。

それでおしまいのはずだったのですが……今日まで来てしまいました！でもいろんな方と知り合いになり、他の単会の活動も知り、視野が広がりしんどい中にも楽しみもあります。

皆様のご協力をいただきながら今年度も頑張っていきたいと思います。

よろしくおねがいします！ (脇本ちよみ)

第5回単会代表者会

日時 1月21日(火) 14:30~16:00

場所 大阪市社会福祉センター(府教育会館南隣)1F 会議室

新春交流会 16:30~ きらくや鍋(上六ハイハイタウン)

飲み放題つき 4000円

複数参加可です

長寿期に生きるための学習会

日時 2025年2月3日(月)
13時受付 13:30開会~15:40終了

会場 大阪市社会福祉センター第一会議室
(近鉄上本町駅東200M 大阪メトロ谷町九丁目東300M)

講演タイトル 「100歳まで生きる時代のリスク
- おふたり様はおひとり様より大丈夫か? 」

講師 春日キスヨさん
(広島県高齢社会をよくする女性の会会長)

参加費 500円